

えんだより 2がつごう

2024・2・14

発行: 桜本保育園

044(288)2545



今月の聖句

「平和があるように」

「その家に入ったら、『平和があるように』と挨拶しなさい。」
(マタイによる福音書10章12節)

2月、一年でもっとも寒い時期ですが、少しだけ日が長くなり、かすかに漂う春の
かおりに「春が近い」と感じる今日この頃です。また、「能登半島地震」から一カ月
が過ぎ、地震の被害状況が明らかになるにつれ、被害の大きさに胸の痛む思いで
いっぱいです。一日も早い復興をお祈りします。

心に太陽を持て。あらしがふこうと、ふぶきがこようと、天には黒くも、地
には争いが絶えなかりと、いつも、心に太陽を持て。
くちびるに歌を持て、軽く、ほがらかに。自分のつとめ、自分のくらしに、
よしや苦勞が絶えなかりと、いつも、くちびるに歌を持て。
苦しんでいる人、なやんでいる人には、こう、はげましてやろう。
勇気を失うな。くちびるに歌を持て。心に太陽を持て。

「心に太陽を持て」は、児童文学者山本有三さんが訳し紹介されたものです。こ
の作者ツェーザル・フライシュレンは、ドイツの詩人で、第二次世界大戦に向かいつ
つあった暗い時代に、人々の心に勇気や元気、希望を与えたとして知られています。
今読み返しても、胸の痛みが和らぎ、心がぼかぼかと温まるようなものを感じます。

今月の聖句はイエスさまが弟子たちを派遣する時にかけられた言葉の一部で、
「病人をいやし・・・ただで与えなさい」と命じられます。そして、「その家に入ったら、
『平和があるように』と挨拶しなさい」と。上記の詩の励ましの言葉に通じるものが
あると思います。

「シャローム(平和)」は、「人々の心の状況も、社会的な状況も、穏やかであ
る」という意味を持つ言葉です。明日のことは誰にもわかりません。けれども神さま
はわたしたちの必要をご存じです。日々互いに「神の平和がありますように。そして
あなたが穏やかでありますように」と交わし合いながら、与えられた一日一日を
感謝のうちに歩んでいきたいと願います。

体調を崩しておられる方々の回復と、皆さまの健康と平安をお祈り申し上げま
す。

(チャブレン 鄭 富京)

1月から体調不良の子どもたちが 毎日 少しづつ いる日が 続きます。 コロナウイルス・インフルエンザ・溶連菌・アデノウイルスな
ど のどが痛く 熱が出る 症状の子どもたちと 嘔吐や下痢の子どもたちです。 コロナ禍のなか 消毒することを頑張った3年間 感染症に
対する 免疫がない子どもたちが いま さまざまなウイルスと 出会いながら からだの免疫力を 高めています。どんなに 科学が進んで
いろいろなものが 開発されても ウイルスに出会いながら からだは つくられていくのですね。

子どもたちとの 関わりも ケガをしないように 止めてばかりいると 痛みがわからず けんかの仕方が わからなくて 大ケガにつながる
といわれています。ケガをするということには 子どもにとって大きな学びが 隠されています。 **自己コントロール力・挑戦する気持ち・工夫
する力・人を思いやる気持ち** ケガから 得られる学びです。これらの力は 大人になってからは 身に付けにくい、 **子どもたちが 生きてい
くための とても大切な力**となります。あるべきではないケガも もちろんあります。絶対に あるべきではない ケガとは、「学びのないケガ」
です。それは **大きすぎるケガ・大人の不注意によるケガ**です。 大きすぎるケガにならないよう **安心・安全な環境を整え** ともに 子どもた
ちの育ちを 見守っていきたいですね。 保育園では 子どもたちのケガの情報を 共有しながら 環境を みなおしています。 気になること
がありましたら いつでも 声をかけてください。

(P)

こんげつの フォト
すぺーす PAZ



News・おしらせ・알림・balita

☆予定

- 2月 10日(土) すぺーすPAZ
- 17日(土) 헛님클라스 懇談会
- 22日(木) 바톤타ッチ의회
- 3月 6日(水) ひとみ座人形劇
園児健診(0・1・5・さらら)
- 16日(土) 卒園のつどい
- 25日(月)～ あたらしいお部屋に移動

☆新しいスタッフです

看護師さんが はいります
週4日勤務

★来年度から 幼児クラスの 主食・副食代が
口座振替になります。手続きの協力を お願いいた
します。

★来年度の緊急連絡票を 配ります。記入して
も 持ってきてください。

Noticias・通知・Tin tức

2024年度の一時保育説明会 3月2日 10:00～

登録と固定の利用申し込み 3月4・5・6日(月・火・水)

